

病害虫発生予察情報(飛驒地域) 8月予報

【 水稲 】

斑点米カメムシ類 *病害虫発生予察注意報第1号(H29.7.13付け)発表

予察灯による斑点米カスミカメ類(アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ)の誘殺数は、5月1日~7月20日の期間で高山市国府町は2,332頭(平年253.0頭)と平年の約9.2倍、下呂市萩原町は158頭(平年106.8頭)と平年の約1.5倍と多くなっています。

散布剤による防除は、穂揃期およびその7~10日後の2回実施が効果的です。

【 野菜・花き 】

コナガ

高山市朝日町における5月1日~7月20日のフェロモントラップ誘殺数が1,071頭(平年589頭)と平年より多くなっています。薬剤抵抗性が発達しやすいため、ローテーション防除を実施してください。

灰色かび病

1か月予報の日照時間が平年並~少ないと予想されるため、発病に好適な条件となる恐れがあります。枯死部のこまめな除去と薬剤散布(同一系統の連用は避ける)を行ってください。

【 果樹 】

果樹カメムシ類(特にクサギカメムシ)

高山市内の予察灯によるクサギカメムシの誘殺数が7月に入ってから急増しています。本虫の5月1日~7月20日の累積誘殺数は167頭(平年46.7頭)と平年の約3.6倍になっています。

園内への飛来を確認したら、ただちに防除を実施してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(8月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水 稲	生育(高山市)	並							(生育はコシヒカリ)
	穂 いもち	並	<初発生>						穂いもち
	斑点米カメムシ類	多	<出穂後本田に侵入>						葉いもちの発生ほ場では、穂いもちの防除を実施する。
	防 除 適 期		▲ ← → ▲ 穂いもち(穂揃期・乳熟期) ▲ ← 斑点米カメムシ(剤の種類による) → ▲						斑点米カメムシ類 発生予察注意報第1報(H29.7.13)を発表。防除は穂揃期およびその7~10日後の2回実施が効果的(粒剤を除く)。
ホ ウ レ ン ソ ウ	べ と 病	並	<高標高地で発生>						べと病
	コナダニ類	並	<盛夏過ぎの発生に注意>						高標高地では、月後半に発生の恐れがあることから予防散布を行う。
	防 除 適 期		▲ ← べと病(高標高地) → ▲ ▲ ← コナダニ(防除) → ▲						コナダニ類 盛夏を過ぎるとほ場により多発することがあるため、発生に注意する。
ト ト ト	灰色かび病	並	<曇雨天時の発生注意>						灰色かび病
	葉かび病	並	<初発生>						花がらや葉先枯れはすぐに除去する。発生後はできるだけ早い時期に治療効果が高い薬剤で進行を止める(葉かび病も同様)。同一系統薬剤の連用は避ける。
	防 除 適 期		▲ ← 灰色かび病 → ▲ (予防剤の散布、ローテーション防除) ▲ ← 葉かび病 → ▲ (予防剤の散布、ローテーション防除)						葉かび病 樹勢低下防止と防除を徹底する。

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

野菜全般	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
	コナガ	多	< 連続発生 >						コナガ 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統 薬剤の連用は避ける。
	タバコガ類	やや多	< 発生最盛期 >						
	防除適期		▲←	コナガ(ローテーション防除) タバコガ類(早期発見・早期防除)			→▲	タバコガ類 防虫ネットの被覆がない場合は注意する。	
	防除適期		▲←				→▲		
果樹全般	生育(高山市)	並							(生育はモモ) カメムシ類 飛来が認められる場合は直ちに防除を実施す る。
	カメムシ類	やや多	< 越冬または第1世代成虫 >						
	防除適期		▲←	カメムシ類(果樹園飛来時)			→▲		

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

調査データ

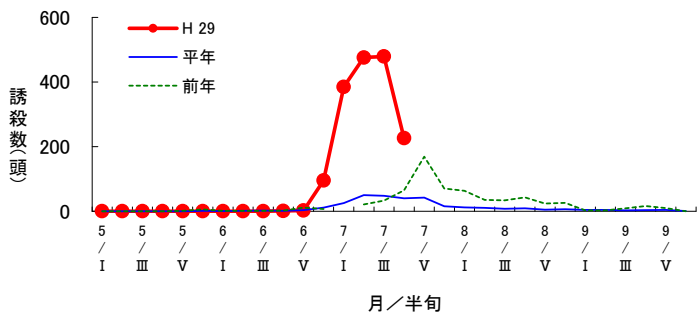


図1 予察灯によるアカヒゲホソドリカスミカメ誘殺数の推移(高山市国府町)

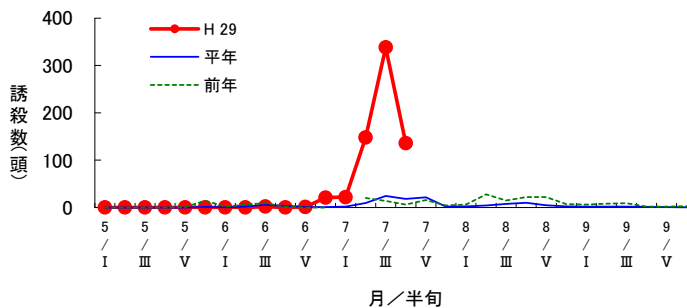


図2 予察灯によるアカスジカスミカメ誘殺数の推移(高山市国府町)

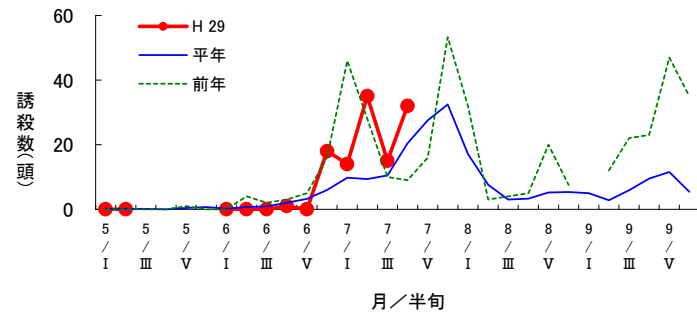


図3 予察灯によるアカヒゲホソドリカスミカメ誘殺数の推移(下呂市萩原町)

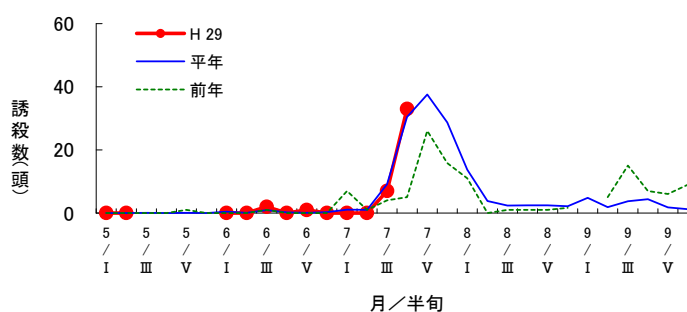


図4 予察灯によるアカスジカスミカメ誘殺数の推移(下呂市萩原町)

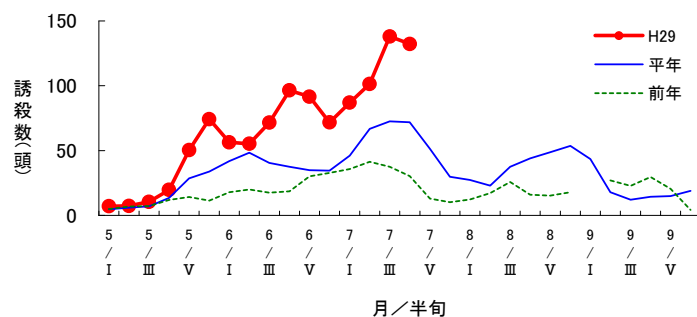


図5 フェロモントラップによるコナガ誘殺数の推移(高山市朝日町)

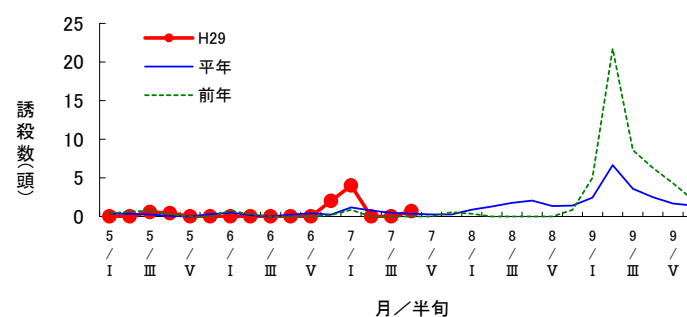


図6 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数の推移(下呂市御殿野)

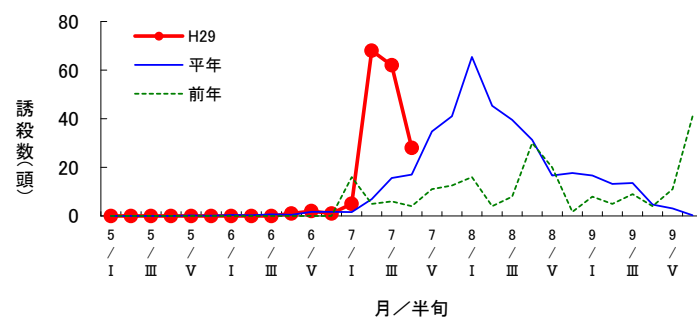


図7 予察灯によるクサギカメムシ誘殺数の推移(高山市国府町)

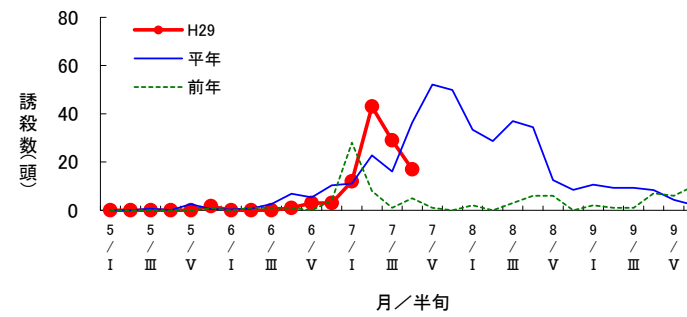


図8 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移(高山市国府町)

**6～8月は
「農薬危害防止期間」です。**

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報 (名古屋地方気象台 7月27日発表)

向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年並～少ないと予想されます。
平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

[http:// www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/](http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/)

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 TEL (0577) 33-1111(内線 245) FAX (0577) 34-2706